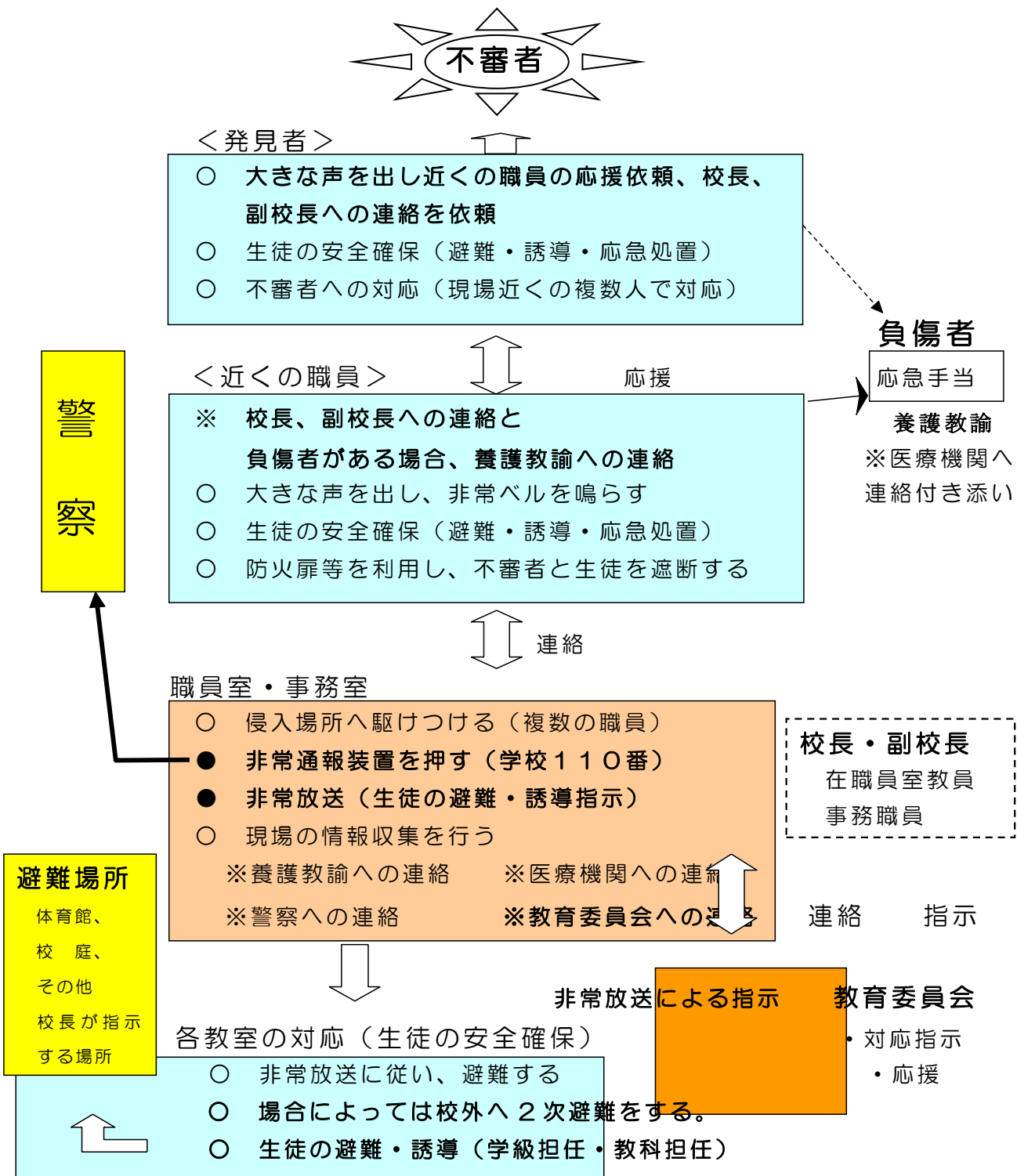


災害対応マニュアル

（不審者）

江戸川区立南葛西中学校

1. 第1次対応（不審者発見時の対応）



※警察への通報

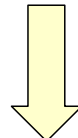
通常は、葛西警察署に電話連絡を行う。状況により非常通報装置（学校110番）を運用するが、運用に当たっては校長が判断する。

2. 第2次対応（事件直後の対応）

《緊急対策会議（運営委員会）》

- 情報収集・状況の把握
- 協議・決定、伝達・指示

- 負傷者の確認・医療機関への搬送
- 生徒の安全管理・保護者への引き渡し、下校
- 警察との連絡 □ 教育委員会との連絡
- 保護者との連絡 □ マスコミへの対応



《救急措置》

- 応急処置
（発見者・養護教諭等）
- 医療機関への搬送、
連絡調整
（養護教諭）
- 負傷者の人数・氏名・
程度等の把握
（養護教諭）
- 負傷した生徒の
保護者への連絡・対応
（副校長、学級担任）

《生徒管理》

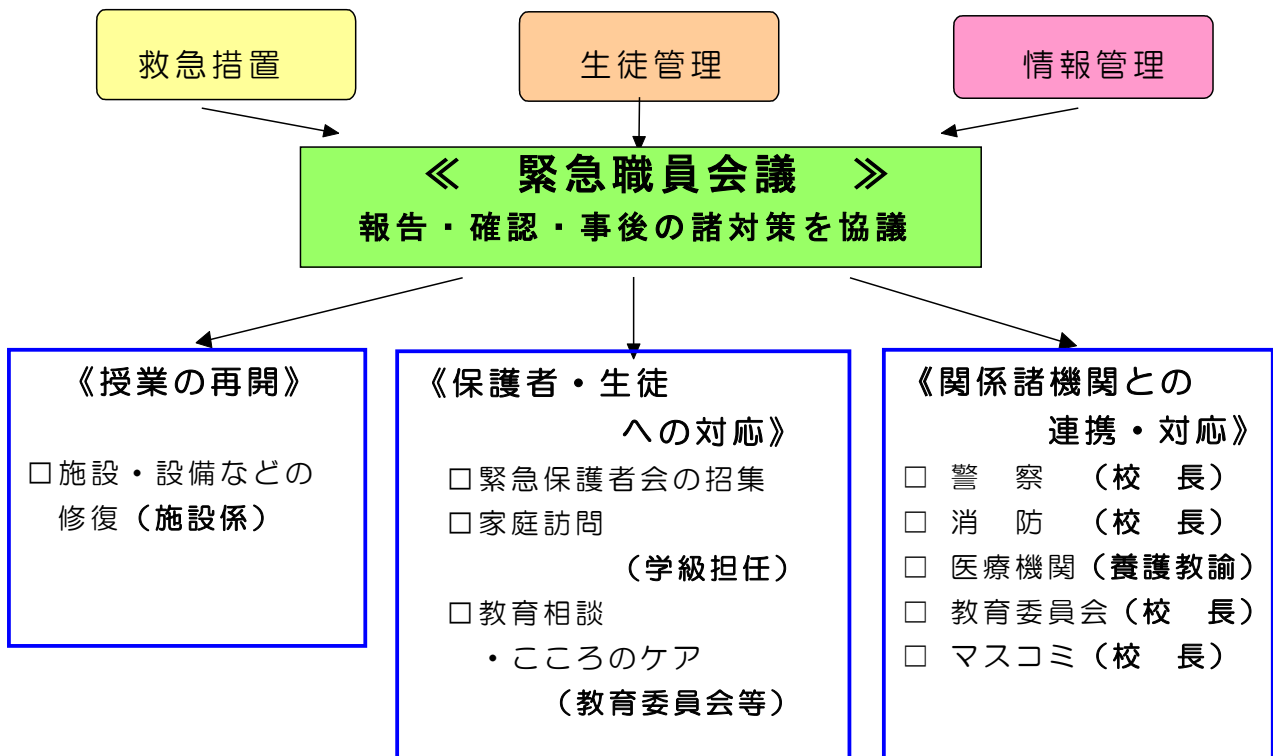
- 生徒の安全管理
- 避難・誘導
- 下校・集団下校・引渡し
の指揮
（生活指導主任）
- P T Aとの連絡
（副校長）
- 保護者への連絡
（連絡メール）
（各学級担任）
（情報推進化リター
-）

《情報管理》

- 情報収集・状況の
把握・伝達・記録
（教務主任）
- 警察・教育委員会・
マスコミへの対応
（校長）
- 保護者・地域への対応
（副校長）

※ 上記役割について、校長が不在の場合の代理者は必ず指定しておく。
また、副校長以下の教職員の役割についても別途校長の指示により、あらかじめ指定しておくものとする。

3. 第3次対応（事件後の対応・措置）



4. 生徒の避難誘導

1 教職員の誘導體制	
副校長（又は主幹）	非常放送（避難場所の指示）
各学級担任・授業担任	生徒の誘導、安全確保
授業のない教員	校内残留生徒の確認・誘導
2 発見時間及び場所による避難誘導	
授業中	学級担任又は授業担当者は、非常放送があった場合、事件発生場所（危険場所）を避けた避難経路を確認し、直ちに生徒を安全な場所へ避難・誘導する。
休み時間	原則として、 <u>学級担任又は次の授業を受け持つ授業担当者</u> は、非常放送により事件発生場所を避けた避難経路を確認し、生徒の避難・誘導にあたる。

5. 教職員等の主な役割

※発見者・・・大きな声を出し、近くの職員に応援を求め、複数人で対応。
生徒の安全確保、必要な応急措置、校長・副校長・養護教諭への連絡など。

係	担 当	主 な 役 割
総指揮	校 長	対応方針の決定、校内の総括・指揮、 教育委員会への報告、警察・マスコミ対応等
通報	副校長	非常放送（避難指示）、関係機関、保護者・PTAへの対応、 校外からの連絡窓口の一本化、事務的な対外折衝等
連絡	教務主幹	情報収集、状況の把握・記録伝達（副校長を補佐） 緊急保護者会の企画
避難誘導	生活指導主幹	生徒の避難誘導及び人員確認、安全確保 下校、集団下校・引渡しの指揮 状況説明と動揺を防ぐための全校集会の企画
	学級担任	生徒の安全確保・避難誘導、保護者への連絡、 学級の生徒の不安や動揺の解消等
	学年主任	担任への助言、担任不在の学級への援助体制の指示
防 御	副担任	不審者への対応、施設設備の修復 担任不在の学級への援助、生徒の安全確保
救 護	養護教諭	応急措置、負傷者の状況把握、医療機関への連絡付添 健康状態の把握、心のケア

6. その他の対応＜緊急時の連絡体制＞

《不審者対応における緊急時の連絡体制の整備》

- 校長は、随時状況を教育委員会指導室に報告するとともに、その指示に従う。
- 校長は、教育委員会の指示に基づき、生徒の早期下校や休校等について決定、保護者に連絡する。
- 負傷者が発生した場合、校長及び教育委員会は誠心誠意を持って対応を図

る。